

令和元年度
燕市教育行政評価結果報告書



燕市教育委員会



目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育委員会の事業一覧

1. 令和元年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・ 3

III 点検・評価の結果

【令和元年度評価対象事業】

1. 「燕ロボット・プログラミング教室事業」・・・・・・・・ 11
2. 「特別支援学校就学援助事業」・・・・・・・・・・・・ 13
3. 「長善館学習塾事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
4. 「地域子育て支援事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
5. 「ファミリー・サポート・センター運営事業」・・・・ 19
6. 「保育園運営費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
7. 「生涯スポーツ振興費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
8. 「三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費」・・・・ 25
9. 「図書館管理運営費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
10. 事業全般に関する評価と今後の方向性 ・・・・・・・・ 29

【第2次燕市学校教育基本計画】

11. 「第2次燕市学校教育基本計画」・・・・・・・・・・・・ 30

IV 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

I はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

| 氏 名 | 役 職 等 |
|-----------------|------------------|
| 委員長 永 井 宏 | 元燕市立燕北中学校長 |
| 副委員長 小 林 理恵子 | 元燕市総合計画審議委員 |
| 委 員 大 橋 和 明 | 元燕市立燕西小学校 PTA 会長 |

3. 点検・評価の実施状況

令和元年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、9事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第2次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

| 開 催 日 | 出 席 者 | 委 員 会 内 容 |
|------------------|--|--|
| 令和2年 6月30日(火) | 委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員12名 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価作業 ・第2次燕市学校教育基本計画の評価作業 |
| 令和2年 8月7日(金) | 委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課スポーツ推進室長及び事務局職員12名 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告書取りまとめ |

II. 教育委員会の事業一覧

1. 令和元年度に実施した主要事業一覧

| 学校教育課 | | |
|-------|------------------------------------|--|
| No. | 事業名 | 事業の概要 |
| 1 | Jack & Bettyプロジェクト 【H28 評価対象事業】 | 外国語指導助手（ALT）3人と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、親善大使海外派遣事業、夏休み英会話教室、English Summer Campを引き続き実施するとともに、初めてEnglish Winter Campを開催し、英語力の向上に努めました。外国語指導助手（ALT）3人の交代があり、渡航費用が発生したことから、平成30年度比で1,817千円の増となりました。 |
| 2 | 特別支援学校就学援助事業 【H31 評価対象事業】 | 当市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。 |
| 3 | 奨学金貸付事業 | 教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。 |
| 4 | 学校教育管理費 | 教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。 |
| 5 | 地域に根ざす学校応援団事業 【H30 評価対象事業】 | 学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目的として、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を推進しました。加えて、地域ボランティアの活用による「放課後等の学習支援活動」にも取り組み、児童生徒の学力向上を図りました。 【補助学校数及び補助額】 20校 4,844千円 |
| 6 | ICT教育推進事業 【H29 評価対象事業】 | 市内の小・中学校に電子黒板等を配備し、子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、授業の幅を広げ、分かりやすい授業を展開しました。また、ICT支援員を配置し、ICT機器（タブレットPC・電子黒板）やソフトウェアの積極的な活用を図るための支援等を行いました。 |
| 7 | 燕ジュニア検定事業 | 児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成30年度改訂）」を活用し、各小学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。また、令和元年度のジュニア検定は、市内小学生2,738人が受検しました。なお、平成30年度に問題集を改訂し増刷を行ったため、平成30年度比で1,066千円の減となりました。 |
| 8 | 子ども夢づくり事業 | 子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場した際、遠征費の補助を行いました。全国大会への出場が減少したことにより、平成30年度比で、人数は45人、補助額で1,141千円の減となりました。 【補助人数及び補助額】 小学生 37人 922千円 中学生 29人 1,083千円 |
| 9 | 姉妹都市子ども交流事業 | 姉妹都市のアメリカ合衆国ダンティ村へ中学生4人と引率1人を派遣し、現地でのホームステイや児童生徒との交流などを通じて青少年の国際理解を深めました。なお、この事業は燕市の中学生派遣とダンティ村からの生徒受入を隔年で実施していることから、平成30年度比で980千円の増となりました。 |
| 10 | 長善館学習塾事業 【H31 評価対象事業】 | 市内の小学6年生を対象に、ふるさと燕市を愛し、様々な分野において活躍する次世代の人材を育成するため、社会性や生きる力を育むことを目的とした南魚沼での宿泊体験や職場体験等、長善館の精神を活かした体験をする長善館学習塾を開催し、16人が参加しました。 |
| 11 | 広島平和記念式典派遣事業 | 非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内中学校5校から代表生徒それぞれ1人を、広島平和記念式典に派遣しました。 |
| 12 | 笑顔で入学支援事業 | 全小学校15校において入学予定児童の保護者596人を対象に講演会を開催し、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にするための支援を行いました。 |

学校教育課

(続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|--|--|
| 13 | 燕キャプテンミーティング | 市内中学校の部活動のリーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月21日、25日、26日の3日間で、講演会の開催やコミュニケーション活動などを実施しました。3日間で延べ210人の中学1・2年生が参加しました。 |
| 14 | 学校図書館充実事業 | 計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しています。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書業務嘱託員を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。 |
| 15 | 羽ばたけつばくろ応援事業 【H30 評価対象事業】 | 若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 個人：1件 100千円 団体：4件 583千円 |
| 16 | つばめキッズファーム事業 【H28 評価対象事業】 | 市内の小学校15校を対象に、子どもたちが農業の収穫の喜びを体験し、子どもたちを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための農業体験について、補助金を交付しました。 |
| 17 | Good Job つばめ推進事業 【H28 評価対象事業】 【H29 評価対象事業】 | 生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、職場体験を5日間実施し、キャリア教育の一層の充実を図りました。また、学校から受入事業所までの送迎を行い、生徒が体験できる職業の拡充を図りました。 |
| 18 | 高校とともに創る輝く人材育成事業 | 「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。 |
| 19 | 入学準備金貸付事業 | 高等学校等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等に対し、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。基金積立金の減により平成30年度比で8,878千円の減となりました。 |
| 20 | 燕ロボット・プログラミング教室事業 【H31 評価対象事業】 | 5月～7月にかけて、新たに購入した小型自律動作ロボット11台を用いた「つばくろロボキッズ教室」を9回実施し、小学5・6年生49人（延べ147人）が参加しました。参加した児童は、小型自律動作ロボットを想定した動きに制御できるようになるなど、プログラミング学習に興味を持って取り組むことができました。 |
| 21 | つばくろいきいきスポーツクラブ事業 | 中学校の運動部活動が休みの日に、もっと体力や技術の向上を目指したい、他の運動に挑戦したい等の生徒のニーズに対応するため、バレーボール・陸上・水泳の3競技について「つばくろいきいきスポーツクラブ」を設立しました。 |
| 22 | 教育指導費 | 児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）や学校生活の満足度検査（QU）を実施しました。また、令和2年度から使用する小学校13教科の教科書改訂等に伴う指導書等を購入したため、平成30年度比で20,606千円の増となりました。 |
| 23 | 学習支援充実事業 | 小・中学校に学習支援員15人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。また、人員確保が困難であったことから、平成30年度比で7,693千円の減となりました。 |
| 24 | 小中学校教職員研修事業 | 教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力等）向上を図るため、教職員を対象に各種研修会を実施しました。 |
| 25 | 新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業 | 児童生徒の「言葉の力」の育成や、小中の連携強化を目指して、最新の専門的理論などの研究に携わる新潟大学教育学部の教授・准教授を指導者として招聘して、国語・英語において、計画的・継続的に指導助言を受けました。国語は7校（小池小、分水北小、全中学校）、英語にあっても7校（燕南小、島上小、全中学校）でそれぞれ授業研究を進めました。 |
| 26 | 中学生学力向上対策プロジェクト | 学力向上を図るため、国語担当者会議（年9回）、数学担当者会議（年9回）、数学学力診断問題（年1回）、英語担当者会議（年5回）、英語授業参観（年18回）等を実施しました。 |
| 27 | 学校不応・ひきこもり相談事業 | 悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。 |

学校教育課

(続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|-----------------------|--|
| 28 | スクールソーシャルワーカー派遣事業 | 児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。 |
| 29 | 適応指導教室事業 | 学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に適応指導教室を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、学校生活への復帰を支援しました。 |
| 30 | 別室登校支援事業 | 学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校に学習支援を目的とする別室登校支援員を配置し、生徒の学習やクラスへの復帰を支援しました。 |
| 31 | 心の教室相談員派遣事業 | 各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。 |
| 32 | 言語・発達障がい通級指導教室運営費 | 発達の特性に応じて子どもが積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。 なお、教材の新規購入が減少したことにより、平成30年度比で69千円の減となりました。 |
| 33 | 教育センター運営費 | 教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。 |
| 34 | 視聴覚ライブラリー運営費 | DVD、ビデオ等の教材や機材の貸出により、映像を取り入れた教育に関する支援を行いました。なお、貸出用DVDの新規購入が減少したため、平成30年度比で164千円の減となりました。 |
| 35 | 子どもを育む推進事業 | 中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。 全中学校5校を対象に3年毎に実施する鑑賞会の実施年ではなかったことから、平成30年度比で4,895千円の減となりました。 |
| 36 | 科学教育推進事業 | 燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修や、児童生徒科学作品展（参加人数2,151人）等、児童生徒や市民を対象とした科学に関するイベントを実施しました。 |
| 37 | 遠距離通学支援事業 | 遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。 |
| 38 | 松長小学校の今後の在り方検討事業 | 松長地区の児童数が減少し、令和5年度以降は2つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況を踏まえ、松長地区の子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、「松長小学校の今後の在り方検討会」を設立し、松長小学校の今後の在り方について、地域の代表者や保護者等による検討会を2回開催しました。 |
| 39 | 教育振興費 | 経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。 |
| 40 | 理科教育等設備整備事業 | 子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。 |
| 41 | 小学校整備事業 | 吉田北小学校浄化槽改修工事（5,275千円）や分水小学校特別教室等照明器具取替工事（2,530千円）など、各小学校施設の整備・修繕を行いました。 |
| 42 | 小学校エアコン整備事業 [明許線越] | 昨今の夏季の記録的な猛暑に対応するため、小学校14校（平成18年度整備済の分水小学校を除く）の普通教室等にエアコンを設置する工事を実施しました。 |
| 43 | 遠距離通学支援事業 | 遠距離通学生徒に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。 |
| 44 | 教育振興費 | 経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等に対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。 また、見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。 |
| 45 | 理科教育等設備整備事業 | 子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。 |
| 46 | 部活動外部人材活用事業 | 市内中学校の運動部活動に、専門的な技術指導力を有する指導者をエキスパート配置事業として1人、令和元年度より新たに部活動指導員配置事業を活用して7人を派遣し、運動部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。 なお、令和元年度から部活動指導員が加わったことにより、平成30年度比で1,567千円の増となりました。 |

学校教育課 (続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|----------------|--|
| 47 | 中学校整備事業 | 燕中学校駐車場整備工事(18,733千円)や、燕中学校屋外運動場南西側防砂ネット設置工事(7,968千円)など、各中学校施設の整備・修繕を行いました。 |
| 48 | 分水中学校受変電設備改修事業 | 経年劣化が進んでいた受変電設備や高圧ケーブル、電線等を更新しました。 |
| 49 | 学校衛生管理費 | 児童、生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。 |
| 50 | 給食センター管理運営費 | 市内小中学校の児童生徒に対して、東部学校給食センター(燕地区)及び西部学校給食センター(吉田地区・分水地区)で調理した学校給食を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> 年間食数(小学校752,163食、中学校400,367食) 給食1食単価(小学校275円、中学校320円) 平均給食回数(小学校約179回、中学校約178回) |
| 51 | 学校教育施設災害復旧費 | 燕中学校屋外運動場北東側防砂ネット撤去工事や松長小学校煙突部修繕など、自然災害による突発的な被害が生じた各小中学校施設について、対応を行いました。 |

子育て支援課

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|--------------------------------------|---|
| 52 | 児童福祉総務費 | 令和2年度から5年間で計画期間とする第2期燕市子ども・子育て支援事業計画を策定しました。 また、幼児教育・保育の無償化に伴う業務増に対応するため、臨時職員2人の雇用等を行い、平成30年度比で1,917千円の増となりました。 |
| 53 | 保育園運営費 【H31 評価対象事業】 | 次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園16カ所(令和2年3月31日現在、園児数1,464人)と市立認定こども園2カ所(令和2年3月31日現在、園児数223人)で保育を実施しました。 |
| 54 | 保育園整備事業 | 小高保育園の遊戯室冷暖房設備やフェンスの改修工事及び駐車場整備工事を行ったほか、つぼみ保育園の遊具の修繕や吉田北保育園のプール改修工事など、保育環境改善工事を実施しました。 |
| 55 | 私立認可保育所経費 | 市内の私立保育園5カ所(令和2年3月31日現在、園児数470人)の委託料及び、地域型保育所1カ所(令和2年3月31日現在、園児数15人)の施設型給付費を負担しました。 また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立保育園5カ所及び地域型保育所1カ所へ補助金を交付しました。 施設数及び園児数の増加により平成30年度比で150,990千円の増となりました。 |
| 56 | 保育所広域入所委託事業 | 家庭の事情により、市内の保育園等への通園が困難な児童について、市外の保育園へ保育を委託しました。また、保育園ではなく地域型保育所を利用した場合には子ども・子育て支援教育・保育給付費を負担しました。 対象園児数の増加により、平成30年度比で9,062千円の増となりました。 |
| 57 | 私立認定こども園経費 | 市内の私立認定こども園2カ所(令和2年3月31日現在、園児数480人)の施設型給付費及び市外の私立認定こども園4カ所(令和2年3月31日現在、園児数7人)の施設型給付費を負担しました。 また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立認定こども園2カ所へ補助金を交付しました。 幼児教育無償化による対象経費の増及び園児数の増加等により、平成30年度比で62,426千円の増となりました。 |
| 58 | 分水小学校区における新たな保育園整備事業 【H30 評価対象事業】 | 分水パステル保育園の運営事業者に対し、園舎等整備のため、燕市児童福祉施設整備事業補助金(10,903千円)及び保育所等整備交付金(32,788千円)を交付しました。 平成30年度は土地購入費として109,754千円を支出していたため、平成30年度比で66,203千円の減となりました。 |
| 59 | 粟生津保育園大規模改修事業 | 粟生津保育園の、老朽化した外装及び電力設備ほか、未満児保育室やプールの改修工事を行うための設計を実施しました。 |

子育て支援課

(続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|--|--|
| 60 | 未満児保育拡充事業 | 0歳児保育の新規受入れのため、大曲八王寺保育園を、1歳児保育の受入れ拡充を図るため、よした保育園を、それぞれ施設改修し、備品等の購入を行いました。 |
| 61 | つばみ保育園民営化事業 | つばみ保育園の民営化に向け、設置・運営主体となる法人を公平かつ適正に選定するための、保育園整備事業者選定委員会を開催しました。 |
| 62 | 保育園施設ブロック塀等対策事業[明許繰越] | ブロック塀等の安全点検結果に基づき、吉田日之出保育園、吉田西太田保育園、地藏堂保育園、笈ヶ島保育園のブロック塀を撤去し、フェンスを設置しました。 |
| 63 | 児童館運営事業 【H29 評価対象事業】 | 遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、また、親子のふれあい交流の場として、7カ所の児童館の運営を行いました（来館者数：136,749人）。 なお、施設修繕及び工事の件数が減少したことや、児童厚生員1人が欠員となったこと等により、平成30年度と比較して8,322千円の減となりました。 |
| 64 | 児童研修館運営事業 | 子どもたちの豊かな感性を育む場として、児童研修館（こどもの森）において、乳幼児や児童とその保護者を対象に、各種教室や体験活動など地域子育て支援事業を実施しました。（来館者数：31,678人）。 |
| 65 | 児童館運営事業[明許繰越] | 分水児童館の空調設備改修工事を実施しました。 |
| 66 | 児童クラブ運営事業 【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】 | 就労等により、昼間保護者が家にいない小学1～6年生の児童を放課後に預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進しました（公立児童クラブ：18カ所、登録児童数795人（令和2年3月31日時点））。登録児童数の増加に伴う非常勤職員の増員や、新型コロナウイルス感染症対策による小学校臨時休業に伴う児童クラブ開設時間の拡大等により、平成30年度と比較して5,191千円の増となりました。 |
| 67 | なかまの会管理運営費 | 児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、5カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数：延べ43,311人）。 |
| 68 | 地域子育て支援事業 【H29 評価対象事業】 【H31 評価対象事業】 | 保育園等に入園していない子育て家庭の育児相談指導や子育て情報の提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内8カ所の子育て支援センターで実施し、子育て支援の充実を図りました。 また、「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業（平成24年申請受付終了）」で、中学校入学者等に子育て支援金を支給しました。 なお、子育て支援センター職員の欠員補充や、中学校入学祝い金支給対象者の増に伴い、平成30年度と比較して26,010千円の増となりました。 |
| 69 | ファミリー・サポート・センター運営事業 【H31 評価対象事業】 | 仕事と育児の両立を支援するため、子育て総合支援センター「すくすく」内にアドバイザーを1人配置し、ファミリー・サポート・センター事業を実施しました。 |
| 70 | 病児・病後児保育事業 【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】 | 病気や病後で通園または通学ができず、家庭での療養も困難な子どもを、病児保育室「あおぞら」（たかた小児科医院併設）で一時的に預かり、保護者の就労と子育ての両立を支援しました（事前登録者数：1,587人、利用者数：657人）。 |
| 71 | 地域子育て支援講座事業 | 同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とする子育て支援講座事業を実施しました。 |
| 72 | 子育てつばめメール配信事業 【H29 評価対象事業】 | 子育てつばめメールやすこやか家族応援情報ページにより、相談窓口や支援制度、イベント等の子育てに関する情報の配信を実施しました（子育てつばめメール登録件数：1,126人、すこやか家族応援情報ページアクセス数：52,400件）。 |
| 73 | 子育てのための施設等利用給付事業 | 幼児教育・保育の無償化に伴う令和元年度新規事業として、幼稚園・認定こども園の在園児が預かり保育事業を利用した場合や、幼稚園・保育園・認定こども園に在園していない子どもが一時預かり事業等を利用した場合に、その利用料相当額を支給しました（55件）。 |
| 74 | 幼稚園運営費 | 市立幼稚園2カ所（令和2年3月31日現在、園児数25人）で幼児教育を実施しました。 非常勤職員数の増による報酬の増及び幼稚園給食食材料費の収支管理を園から市会計での支出に変更したことにより、平成30年度と比較して3,411千円の増となりました。 |
| 75 | 幼稚園総務費 | 市外の私立幼稚園へ区域外就園した児童のための施設型給付費を負担しました。区域外就園児童数が減少したため、平成30年度比で5,329千円の減となりました。 |

社会教育課

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|--------------------------|---|
| 76 | 勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費 | 勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。 修繕費の減少により、平成30年度比で426千円の減となりました。 |
| 77 | 生涯学習推進費 【H28 評価対象事業】 | 第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和4年度）の進捗管理について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（1回）を開催しました。 また、「生涯学習人材バンク」の講師登録を随時更新し、利用を促進しました。 |
| 78 | 社会教育総務費 | 社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回）を開催しました。また、県内社会教育委員との情報交換・研究協議に係る研究集会等へ参加しました。 |
| 79 | 成人式事業費 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月15日に予定していた成人式を11月28日に延期しました。 案内状の郵送料等を除いて令和2年度に予算を繰り越したため、平成30年度比で632千円の減となりました。 |
| 80 | 家庭教育推進事業 【H30 評価対象事業】 | 幼稚園・保育園・こども園の保護者会や小・中学校のPTAが開催する講演会等にかかる講師謝礼について、7,000円を上限に助成を行いました。 |
| 81 | 中央公民館管理運営費 | 中央公民館の管理運営を行いました。 日直、夜間の管理体制の変更などにより、平成30年度比で1,452千円の減となりました。 |
| 82 | 地区公民館管理運営費 | 吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 |
| 83 | 中央公民館事業 | 青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学、子ども体験講座、風の子くらぶなどの講座を開催しました。 |
| 84 | 地区公民館事業 | 各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭・芸能発表会を行うとともに、成人や青少年を対象とした講座を行いました。 |
| 85 | 分館管理運営費 | 中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。 |
| 86 | 分館事業 | 中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。 |
| 87 | 市民交流センター管理運営費 | 燕市民交流センターの管理運営を行いました。 自動火災報知設備の設置工事を行ったことなどにより、平成30年度比で1,198千円の増となりました。 |
| 88 | 図書館管理運営費 【H31 評価対象事業】 | 市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。 また、図書館協議会を2回開催し、「第2次燕市子ども読書活動推進計画」の策定や図書館運営について協議しました。 燕図書館の受水槽および非常放送設備の更新や吉田図書館の学習室テーブルの修繕を行ったことなどにより、平成30年度比で9,494千円の増となりました。 |
| 89 | 吉田図書館空調設備等改修事業 | 吉田図書館の空調設備の更新、トイレの洋式化および屋上防水等、施設の改修工事を行うための設計業務委託を行いました。 |
| 90 | 青少年育成センター事業 | 青少年への街頭補導活動および社会環境浄化活動等を行いました。また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。 |
| 91 | 文化会館管理運営費 | 文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）の開催や、1階ホワイエ天井の修繕工事などを行いました。 平成30年度に比べ修繕工事が少なかったため、平成30年度比で2,433千円の減となりました。 |
| 92 | 自主事業 【H29 評価対象事業】 | 市民へ質の高い舞台芸術を提供するため、小学校合同鑑賞会や、鼓童交流公演、小椋佳 歌紡ぎの会、重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会などの自主事業を実施しました。 共催事業が平成30年度より少なく、市単独での負担が多くなったことから平成30年度比で1,877千円の増となりました。 |
| 93 | 文化会館楽屋トイレ改修事業 | 文化会館の楽屋トイレを洋式化する改修工事を行いました。 |

社会教育課

(続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|--|---|
| 94 | 吉田ふれあいセンター管理運営費 | 吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。 |
| 95 | 吉田ふれあいセンターブロック塀等対策費[明許繰越] | ブロック塀等の安全点検結果に基づき、吉田ふれあいセンターのブロック塀を撤去し、フェンスを設置しました。 |
| 96 | 分水良寛史料館管理運営費 | 分水良寛史料館の管理運営を行いました。避難口誘導灯交換工事や屋外キュービクル補修等の修繕工事を行ったことなどにより、平成30年度比で600千円の増となりました。 |
| 97 | 分水良寛史料館展示事業 | 良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。平成30年度において文化財虫菌防除業務委託を実施したことから、平成30年度比で302千円の減となりました。 |
| 98 | 長善館史料館管理運営費 | 長善館史料館の管理運営を行いました。長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年3回の企画展を開催しました。また、引き続き、筑波大学と連携し、長善館歴代館主の日記解読を行い、製本した日記を史料館に展示しました。 |
| 99 | 文化財保護事業 | 文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を実施しました。また、文化財をテーマにした動画「ブラつばめ」第4弾【良寛編】、第5弾【米納津隕石編】を制作・公開するなど、文化財のPRを行いました。水道の塔の躯体調査や外壁剥落防止のためのネット設置工事を行ったことなどにより、平成30年度比で4,715千円の増となりました。 |
| 100 | 埋蔵文化財事業【H30 評価対象事業】 | 市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。また、新潟県教育委員会と共催で宝崎遺跡の調査成果をテーマとした考古学講演会を開催するなど、埋蔵文化財の公開活用に努めました。宝崎遺跡、熊ノ田遺跡の本発掘調査が完了したことなどにより、平成30年度比で23,842千円の減となりました。 |
| 101 | 文化振興事業 | 文化団体（文化協会、郷土史研究会連合会）に対する活動支援、燕市美術展覧会、良寛書道展、つばめっ子かるた大会の開催および、「郷土史燕」、「文芸つばめ」の出版を行いました。全国良寛会燕大会の開催に係る補助金の交付などにより、平成30年度比で1,076千円の増となりました。 |
| 102 | 体育振興費 | 燕市スポーツ協会とスポーツ少年団の活動を支援するとともに、全国大会出場激励金の交付を行いました。また、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。 |
| 103 | 生涯スポーツ振興費【H28 評価対象事業】 【H31 評価対象事業】 | 公認のハーフマラソンコースを新設するなど燕さくらマラソン大会をリニューアルして開催したほか、健康づくり教室やニュースポーツ等の大会を開催し、市民の健康づくりや競技力向上に努めました。燕さくらマラソン大会のリニューアル開催により、平成30年度比で15,250千円の増となりました。 |
| 104 | 東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業【H29 評価対象事業】 | 東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第7回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会を開催しました。（令和元年度は宮崎県西都市で開催） |
| 105 | ホストタウン推進事業【H28 評価対象事業】 【H30 評価対象事業】 | 市民のオリンピック・パラリンピックへの関心を高めるため、オリンピックやトップアスリートによる講演会・講習会を開催しました。また、平成30年度に引き続き、モンゴル国パラアーチェリー選手団の事前合宿の受け入れを行いました。モンゴル国パラアーチェリー選手団の合宿参加者が増加したため、314千円の増となりました。 |
| 106 | スポーツ拠点化推進事業【H29 評価対象事業】 | スポーツによる地域の活性化を図るため、スポーツ大会や合宿の誘致、アスリート弁当の販売促進などを行いました。また、それらの業務を担う地域おこし協力隊の募集活動を行いました。 |

社会教育課

(続き)

| No. | 事業名 | 事業の概要 |
|-----|----------------------------------|---|
| 107 | 体育施設管理運営費 | 燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行いました。また、燕北多目的武道場、屋外プール3ヶ所の施設管理を行いました。 |
| 108 | 三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費【H31 評価対象事業】 | 三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。陸上競技場の公認継続に伴う整備工事などにより、平成30年度比で1,840千円の増となりました。 |
| 109 | 分水多目的屋内運動場外装改修事業 | 分水多目的屋内運動場1号棟の屋根および外壁の改修工事を行いました。 |
| 110 | B&G海洋センター改修事業 | B&G海洋センターの循環配管やプール槽シートの更新、プールサイドの改修工事を行いました。 |
| 111 | 吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修調査検討事業 | 吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の改修に向けた調査研究を行いました。 |
| 112 | 吉田野球場等ナイター照明改修事業 | 吉田野球場、吉田テニスコートのナイター設備改修工事の設計業務委託を行いました。 |
| 113 | 分水テニスコートナイター照明改修事業 | 分水テニスコートのナイター照明のLED化工事を行いました。 |
| 114 | 開放施設管理費 | 市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。燕西小学校グラウンド防球ネット張替工事などにより、平成30年度比で1,238千円の増となりました。 |
| 115 | 社会体育施設災害復旧費 | 台風により被害を受けた燕市民研修館および吉田屋内ゲートボール場の修繕を行いました。 |

Ⅲ. 点検・評価の結果

【令和元年度評価対象事業】

令和元年度 教育行政評価報告書

<知・徳・体を育成する教育の推進>

| 点検項目 | 燕ロボット・プログラミング教室 |
|---------|---|
| 元年度達成目標 | 子どもたちが「プログラミング的思考」を働かせながら LEGO ロボットを操作する活動や、プログラミングしたロボットを競う大会に参加することを通して、プログラミングに対する興味関心や学び続ける意欲を高め、将来、燕市で活躍して世界と勝負をすることができる人材を育成する。 |
| 目標の達成状況 | ●ロボット・プログラミング教室の延参加者数 目標：40人 実績：147人 達成率：367.5% ●教室参加児童の満足度アンケート 目標：90% 実績：100% 達成率：111.1% |
| 取組の概要 | (1) 5月から7月にかけて、小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室」を9回実施し、49名(延147名)が参加した。 (2) そのうち7名がWRO新潟地区大会に出場したが、得点の獲得にはいたらなかった。 |
| 自己評価 | ロボット・プログラミング教室の参加申し込み数については、定員を上回る申し込みをいただき、PCを追加で準備する等して申込者全員を受け入れできた。 |
| 評価委員の評価 | 保護者や児童のニーズが高く、将来、燕の地場産業に繋がるスキルになるので、重点事業として続けていく事業だと思う。現在は、小学5・6年生が対象になっているが、将来的には中学年まで広げてほしい。 また、上級生が下級生を教えていく仕組みを作ると、大会での成績に繋がり、参加者の満足度も今以上に上がっていくのではないかと。 |

| | |
|--------|--|
| 今後の方向性 | <p>令和2年度は、9月から12月の間で5回の教室を行う予定である。その中で異学年交流の設定について、講師と相談する。</p> <p>多くの児童が体験できる場を設けることによって関心を高め、対象学年については、児童の参加状況を見ながら検討を進める。</p> |
|--------|--|

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

| 点検項目 | 特別支援学校就学援助事業 |
|---------|--|
| 元年度達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・燕市在住の盲学校・聾学校・特別支援学校の児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行う。 ・県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行う。 |
| 目標の達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校就学援助金の申請状況 H30：案内発送 93 人中、申請 86 人 支給額計 4,971,000 円（通学 83 人、寄宿 3 人） R1：案内発送 93 人中、申請 90 人 支給額計 5,299,000 円（通学 87 人、寄宿 3 人） ・通学バス利用者数 H30：小学部 8 人・中学部 6 人・高等部 11 人の合計 25 人利用 R1：小学部 8 人・中学部 4 人・高等部 12 人の合計 24 人利用 |
| 取組の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校就学援助金の申請手続きについて <ol style="list-style-type: none"> ①毎年 1 月頃に学校教育課から該当者の保護者へ「特別支援学校就学援助金申請のお知らせ」を郵送する。 ②受給を希望する保護者は、申請書を学校教育課へ提出する。 ③学校教育課は、申請内容の確認を行い、3 月に就学援助金を申請者指定の口座に振り込む。 （通学：月額 5,000 円　寄宿：月額 6,000 円） ・マイクロバスの運行について 月ヶ岡特別支援学校へ通学する児童・生徒の移送支援のため、「障がい者地域生活支援センターはばたき」から月ヶ岡特別支援学校まで通学バスを運行し、保護者の負担軽減を図りました。バス運行及び運行管理について、業務委託する。また、保護者会が中心となって運転手と連絡を取り、乗車人数や時間を確認しながら運行する。 |

| | |
|---------|---|
| 自己評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校就学援助金については、案内を発送した9割以上の対象者から申請をいただいております、ある程度の制度の周知が図られていると考えています。 ・月ヶ岡特別支援学校への送迎バスについては、乗車人数を保護者会から調整していただき、スムーズな運行ができており、保護者の負担軽減につながっていると考えています。 |
| 評価委員の評価 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校就学援助金 良い制度だと考えており、今後も継続していただきたいと思います。 ●県立月ヶ岡特別支援学校への通学バス 必要な支援だと考えており、今後も保護者の意見を反映して事業継続をお願いしたい。 全ての特別支援学校にバスを出すことは難しいかもしれないが、引き続き検討はしていただきたいと思います。また、不公平感が生じないような配慮をお願いしたい。 |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校就学援助金 特別支援学校在学の児童生徒保護者への支援策として重要と考えており、今後もわかりやすい申請案内をしていく。 ●県立月ヶ岡特別支援学校への通学バス 今後もスムーズな運行ができるよう、保護者会と連携しながら事業を継続し、保護者負担の軽減を図っていく。 学校間で不公平感が生じないよう、通学バスがない学校については、就学援助金を活用していただくなど配慮するとともに、今後もバス運行について研究していく。 |

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

| 点検項目 | 長善館学習塾事業 |
|---------|--|
| 元年度達成目標 | <p>① 参加児童が自らの成長を実感すること。</p> <p>② 郷土愛を身につけること。</p> <p>(評価基準)</p> <p>参加者へのアンケートで肯定的な回答が 100%に達したか。</p> |
| 目標の達成状況 | <p>アンケート調査により目標①②共に肯定的な回答が 100%に達した。</p> <p>〈アンケート項目〉</p> <p>① 活動を通して自分自身が成長できたと感じるか。 100%</p> <p>② 活動を通して前より燕市が好きになった。 100%</p> |
| 取組の概要 | <p>本事業は、かつて長善館で学んだ方の中から政治家や学者、医師などが輩出されたように、本事業により様々な講師から話を聞き、勉強し、様々な体験活動を行うことを通して、思考力、創造力、コミュニケーション能力を養うことにより、たくましく生きる力を養い、未来の燕市を担う子どもたちの育成を図ることを目的に、平成 25 年度に開始した。</p> <p>市内の小学 6 年生を対象として、約 1 年間、計 20 回の活動を実施する。</p> <p>(主な活動内容)</p> <p>6月 開講式</p> <p>7月 ビデオ制作活動開始(11月頃まで)</p> <p>8月 南魚沼市宿泊体験 テレビ局見学</p> <p>9月 認知症サポーター研修</p> <p>10月 福祉施設訪問(中止)</p> <p>12月 職場体験</p> <p>2月 閉講式</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>自己評価</p> | <p>制作したビデオ作品が全国コンクールで入賞したことなどもあり、参加児童全員が活動を通して成長を実感することができた。</p> <p>活動としては充実したものになったと思われる一方で、毎年参加者の募集には苦労しており、多くの児童から申し込みを行ってもらえるよう、事業の実施形態の見直し等の取り組みを行っていく。</p> |
| <p>評価委員の評価</p> | <p>令和2年度はコロナ禍で活動は難しいかもしれないが、テレビ会議システム等を駆使して活動を続けてほしい。それでビデオを作るのも面白いのでは。</p> <p>キャンプでは大自然を味わってほしいが、虫刺され等を防ぐために、服装の指導には気を付けていただきたい。</p> <p>募集については、年20回という活動回数が、ハードルが高いと思われる理由かもしれない。また、事業名は歴史ある良い名前ではあるが、子供から見ると魅力を感じられないのでは。</p> <p>制作したビデオをアーカイブで紹介し、また、募集の時にも紹介してはどうか。加えて、これまで参加した子どもたちや保護者の声をチラシ等に載せると、参加したいと思ってもらえるのではないか。</p> |
| <p>今後の方向性</p> | <p>児童の対話を通して問題解決を図る活動が主体であることから、現状ではオンラインによるミーティングについて考えていないが、児童の機器の所有状況や活用による有効性について調査研究する。</p> <p>コロナ禍が収束しない状況下では、サバイバルキャンプの実施はできないが、実施する際には、服装の指導を丁寧に実施していきたい。</p> <p>募集にあたって、実施回数についてはその年度の活動内容を基に減少が可能かどうか検討したい。また、事業名については「長善館学習塾」を維持するが、募集チラシに魅力あるタイトルを設けるなど、応募がしやすくなるよう工夫する。</p> <p>あわせて、制作したビデオを燕市公式ウェブサイト上の「つばくろWeb」に掲載し、募集時に紹介するとともに、参加者や送迎をお願いする保護者の方の心理的ハードルを下げるために、これまでの参加者の声も載せてPRする。</p> |

【所管：学校教育課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

| 点検項目 | 地域子育て支援事業 |
|---------|---|
| 元年度達成目標 | <p>子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てをするための支援を行うため、地域の子育て支援センターを運営。</p> <p>交流・遊びのスペースの提供、子育てに関する情報の提供、子育てへの不安や悩み相談を受けるなどの支援を行う。</p> <p>数値目標：①子育て支援センター利用者数 53,964 人 <small>(積算根拠：平成 26 年度～平成 30 年度の 5 年間の平均利用者数)</small></p> <p>②相談件数 2,551 件 <small>(積算根拠：令和元年度利用保護者数の 10%)</small></p> |
| 目標の達成状況 | <p>子育て家庭の交流促進や育児相談等を実施し、子育てに伴う孤立感・負担感の軽減を図った。また、子育て関連情報の提供や子育てに関する講座等を実施した。</p> <p>実績：①子育て支援センター利用者数 53,205 人 ②相談件数 4,124 件</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月は休館した日数が多かった。そのため、通常通り開館していた場合、利用者数はこれに加えて約 5,000 人の増が見込まれる。(平成 30 年度実績より)</p> |
| 取組の概要 | <p>各子育て支援センターにおいて、子育て家庭の育児不安に対する相談、交流・遊びスペースの提供、子育てに関する情報の提供、子育てに関する各種講座・イベント等の実施を行った。また、市のホームページや子育てつばめ〜ルで各種講座・イベント等の情報を発信し周知に努めた。</p> <p>3 つの支援センターにおいて、平成 30 年度より子育て支援センター出張サービスを開始した。(水道町保育園 2 回、小池保育園 2 回、大曲八王寺保育園 2 回) また、支援センター会議の回数を年 1 回から 4 回に増やし、支援センター職員間での意見交換等の機会が増えることでより良い子育て支援を提供できるよう努めた。(4 回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。)</p> |

| | |
|---------|---|
| 自己評価 | <p>令和元年度は、相談件数のみ目標値を上回った。しかし、施設利用者数についても新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館が影響していると考えられる。子育て中の親子へ、交流、育児相談、情報提供等の支援をすることで、親子のつどいの場、子どもたちの楽しい遊び場としての役割を果たすことができた。</p> |
| 評価委員の評価 | <p>日中働いているフルタイム勤務の人も、子育て支援センターを活用できるようにすると良いのではないか。例えば、悩み相談の内容をホームページを使って掲載するなど、サテライト的に情報発信する方法もある。</p> <p>また、子育てサークルの活動を増やして子育てサークルを充実させてほしい。</p> |
| 今後の方向性 | <p>子育て支援センターでの相談件数は多いが、ほとんどが支援センターの職員で対応できるものである。子どもの成長に沿って、保育者が相談したい内容は類似している。「よくある質問」のような形で、相談についての内容を情報発信していきたい。</p> <p>子育てサークルは新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度現在、活動を休止しているグループが多い。感染予防の対策を講じて、可能な限りの活動ができるようフォローしたい。</p> |

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

| 点検項目 | ファミリー・サポート・センター運営事業 |
|---------|---|
| 元年度達成目標 | <p>ファミリー・サポート・センターの認知度を上げることで育児の援助を必要とする保護者の利用につなげ、援助を必要とする保護者のニーズに応えると共に、子育て支援のセーフティネットとしても機能する。</p> <p>数値目標：①利用件数 1,000 件 <small>(積算根拠：平成 30 年度以降 100 件ずつの増加を見込んだ数)</small></p> <p>②会員数 380 人 <small>(積算根拠：半年に 5 名程度の増加を見込んだ数)</small></p> |
| 目標の達成状況 | <p>提供会員の登録数は横ばいですが、依頼会員の登録数は増加傾向で、子育て世帯から必要とされている事業であると考えます。安心して利用できるように利用前の会員同士のマッチングは 100%実施できている。利用件数は減少傾向であるが、依頼会員の多様なニーズに対応した援助を実施している。</p> <p>実績：①利用件数 850 件 (令和元年度) ②会員数 391 人 (令和元年度)</p> |
| 取組の概要 | <p>地域全体で育児に関する相互援助活動を行うことにより、仕事と育児の両立を支援するとともに安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進する。保育園等の登園前や帰宅後の子どもの預かりまたは送迎、学校の放課後の預かり及び送迎等が主な内容となっている。日曜日、祝日も利用でき、休日保育事業を補完する役割も担っている。</p> |
| 自己評価 | <p>子育ての援助を行う提供会員の登録が少ないことが課題であるため、養成講座の開催や事業のPR活動の充実化を図り、提供会員を確保する必要がある。できるだけ依頼会員のニーズに応えられる体制づくりが必要である。</p> |
| 評価委員の評価 | <p>保育園への子どもの送迎等、実際のファミリー・サポート・センターの活動を見ることで、子どもを預ける不安の軽減ができ、さらなる周知につながると思う。</p> <p>元気な人が集まるスポーツクラブ等で会員募集のPRをして、提供会員の確保に努めてほしい。</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>良い事業なので、提供会員の確保に努め、継続してほしい。</p> |
| <p>今後の方向性</p> | <p>実際の保育園の送迎や預かりなどの活動の一場面を子育てアプリ「はぐはぐ」や市ホームページに掲載し、どのような活動をしているか情報発信することで、安心して気軽に子育て援助を利用できるように取り組んでいきたい。</p> <p>また今後は、スポーツクラブや市民活動団体へ訪問し、提供会員募集のPRを実施していきたい。</p> |

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

| 点検項目 | 保育園運営費 |
|----------------|---|
| <p>元年度達成目標</p> | <p>家庭で保育をすることができない児童を保護者に代わって保育することで、仕事と子育ての両立を支援する。</p> <p>子育て世帯の核家族化や共働き世帯の増加に伴い、多様な保育サービスの充実が求められていることから、安心して子どもを産み育てられる環境整備に取り組む。</p> <p>目標：<u>①0歳児・1歳児保育受入枠の拡大</u> <u>②待機児童数 0人</u> <u>③早朝・延長保育を必要とするすべての児童を対象に実施</u> <u>④一時保育事業の実施</u></p> |
| <p>目標の達成状況</p> | <p>実績：<u>①0歳児・1歳児保育の拡大</u></p> <p>大曲八王寺保育園の0歳児受入枠 0人→9人（9人増） よしだ保育園の1歳児受入枠 24人→30人（6人増）</p> <p><u>②待機児童数 0人</u></p> <p>年度途中の入園希望であっても、保育を必要とするすべての児童の保育を実施することができた。</p> <p><u>③早朝・延長保育を必要とするすべての児童を対象に実施</u></p> <p>保育士の確保に努め、保育時間の延長に対するニーズに応えた。</p> <p><u>④一時保育事業の実施</u></p> <p>保育士の確保に努め、就労・就学やリフレッシュ等、一時的に保育を必要とする保護者のニーズに応えた。</p> |
| <p>取組の概要</p> | <p>保育利用率（利用児童数／就学前児童数）が年々上昇しており、特に3歳未満児においてその傾向が顕著にみられる。1・2歳児の保育は全園実施しているものの、0歳児保育を実施している園は全体の約半数で、特に旧燕地区での実施率（実施園数／全園数）が低いため、立地や施設の状態から大曲八王寺保育園で0歳児の受入を開始した。また、育児休業期間の終了に伴う年度途中入園の希望が多い1歳児について、よしだ保育園で受入枠を拡大した。</p> <p>早朝・延長保育事業に関しては、昨年度に引き続き、すべての保育園・認定こども園において実施し、保育時間の長時間化への二一</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>ズへ対応した。</p> <p>さらに、就労形態の多様化に伴う保育ニーズへ対応や育児負担の軽減を図るため、保育園等に在園していない児童で一時的に保育が必要となった場合に利用できる一時保育事業を公立保育園2園及び子育て支援センター1施設で継続実施した。子育て支援センターで実施にあたっては、利用時間の範囲を広げるなど利用者の利便性向上に努めた。</p> |
| 自己評価 | <p>核家族化が進行し、女性の社会進出が進む中、出生数は減少しているものの、保育ニーズは増加し多様化している。</p> <p>3歳未満児の受入れについて、0歳児・1歳児の受入枠を拡大することで待機児童数0人を維持することができた。</p> <p>また、通常保育以外の保育ニーズに対しても、保育サービスを充実させ、働くことと育てることの両立を支える施策を実施し、保護者支援を行った。</p> |
| 評価委員の評価 | <p>今後も待機児童数0人を維持してほしい。</p> <p>一時保育事業は、多様化する保育ニーズに合った事業である。普段は保育園に預けていない子どもでも、急に預かってほしいといった要望は、今後更に増えてくるだろう。</p> <p>また、保育士が減ってくることが予想され、保育士確保が課題となってくる。働き方も家族の形態も変化してきているため、多様なニーズに対応できる体制をできるだけ整え、そのことをPRすれば、少子化対策につながるのではないかと。</p> |
| 今後の方向性 | <p>令和2年度中に2施設の改修工事を行い、令和2年9月から燕こども園において、令和3年4月からは粟生津保育園において0歳児保育を実施する予定である。</p> <p>早朝・延長保育や一時保育事業の実施に必要な保育士については、保育士就職相談会の実施や保育士人材バンクの活用などにより、今後も確保に努めたい。また、そうした取り組みのPRについても、より一層力を入れていきたい。</p> |

【所管：子育て支援課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

| 点検項目 | 生涯スポーツ振興費 |
|---------|---|
| 元年度達成目標 | スポーツ教室やスポーツ大会、燕さくらマラソン大会やニューススポーツ大会などを開催し、市民の健康増進や競技力の向上を図る。 |
| 目標の達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室…32 教室で申込者は 680 名 ・スポーツ大会…77 大会で参加者は 8,962 名 ・燕さくらマラソン大会…目標 1,500 名に対し申込者 1,719 名 ・ニューススポーツ大会…8 大会で参加者数は 830 名 |
| 取組の概要 | <p>○スポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教室を開催し、市民の健康づくりを目指す。 ・教室開催後は、総合型スポーツクラブへ入会を勧め、年間を通して健康づくりに勤しんでもらえるような環境づくりを整える。 <p>○スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会加盟団体が主管で様々な大会を開催し、競技力向上を目指す。 <p>○燕さくらマラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度に「燕さくらマラソン大会実行委員会」を設立し、大会運営について協議し、準備を進める。 ・会場をスポーツランド燕から大河津分水さくら公園に移し、日本陸連公認のハーフマラソンとリバーサイドウォーキングを新設。 ・RUNNET（インターネット申込みサイト）の申込みにより、申込の利便性を図ることやふるさと納税を活用した申込みを実施。 ・地元自治会やまちづくり協議会からエイドステーション（給水所）の運営をしていただきランナーへのおもてなしを実施。 ・メディカルランナー（競技中の救護活動に協力できるランナー）の導入や地元の高校生から AED 自転車隊としてコース内巡回による安全確保の実施。 ・大会 PR アンバサダーに燕市出身の宇佐美彰朗氏（五輪 3 大会日本男子マラソン代表）を任命。 <p>○ニューススポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューススポーツ（ソフトバレーボール、スポレック(バウンドテニス)、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ)の大会を開催 |

| | |
|---------|---|
| | し、市民の健康づくりを目指す。 |
| 自己評価 | <p>○スポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民から参加してもらえよう、参加者の意見を聞きながら教室の内容を工夫していく。 <p>○スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会に多くの市民から参加していただいている。今後もスポーツ協会と連携しながら継続していく。 <p>○燕さくらマラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルして初めて開催した第 30 回大会は予想を上回る 1,719 人もの申込みがあり、当日は天候にも恵まれ、大きな事故やケガもなく開催することができた。 ・ランナーやスタッフからいただいた貴重な意見を踏まえて、次回大会に向け、ランナー、スタッフ、地域が一体となった地元から愛される大会になるよう準備を進めていく。 <p>○ニュースポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの目的はもちろんのこと、近年は競技性も増しているため多くの方から参加してもらえようように部門分けするなどの工夫を図っていきたい。 |
| 評価委員の評価 | <p>スポーツをする人の中には、コミュニティを求めている人もいるので、市民の意見を聞きながらコミュニティづくりにも役立つようにスポーツ教室を進めてほしい。</p> <p>燕さくらマラソン大会は、リニューアルして注目も浴びてとてもよかった。今年度は中止となったが、引続き愛される大会にしてほしい。また、県内外から多く参加していただけるよう大会の魅力をアップしてほしい。</p> |
| 今後の方向性 | <p>スポーツ教室や大会は、引続きスポーツ協会と連携しながら、市民が仲間づくりや健康づくりに取り組めるように内容の充実を図る。燕さくらマラソン大会は、県内外からより多く参加いただき、地域の活性化につながるよう実行委員会で大会運営やコロナ対策等について審議を重ね、令和3年度開催に向けて準備を進める。</p> |

【所管：社会教育課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

| 点検項目 | 新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費 |
|---------|--|
| 元年度達成目標 | 新潟県三条・燕総合グラウンド施設を安全安心に利用していただくための維持管理や、日本陸上競技連盟の競技場の公認継続のための整備工事等を行い、利用者の利便性の確保ならびに陸上選手の競技力の向上に努める。 |
| 目標の達成状況 | <p>施設の年間利用者数は、平成 30 年度で 70,016 人となり、初めて7万人を超えたが、令和元年度の利用者数は、57,199 人に留まった状況である。</p> <p>施設整備については、利用者の利便性を図るための駐車場整備や日本陸上競技連盟の競技場の公認継続のための整備工事を予定通り完了した。</p> |
| 取組の概要 | 施設を安全安心に利用していただくため、日々、維持管理を行っているほか、国道への案内看板設置、新規駐車場整備、競技場の公認継続のための整備工事を実施した。 |
| 自己評価 | <p>利用者数は、平成 30 年度比で 12,897 人減少 (△18.4%) したものの、利用件数は 56 件増の 3,115 件となっている。</p> <p>これは、中学校の郡市大会が枠組みの変更により開催されなくなったことや天候不良による大会中止により利用者数が減少したものと考えられる。</p> <p>利用件数は増えており、今後とも、幅広い年代や個人・団体のそれぞれが利用しやすい施設となるよう、維持管理と PR に努めていきたい。</p> |
| 評価委員の評価 | 少子化による学校の大会の枠組の変更や、平成の大合併による市内体育施設の増加や市の中心点の移動もあるが、利用者にとって利用しやすい環境を整備した施設を提供していくことは不変的重要事項である。将来的な需要や状況を見据えつつ、今後とも安全安心な施設として利用者目線に立った維持管理を行っていただきたい。 |

| | |
|--------|--|
| 今後の方向性 | <p>施設利用者の立場で施設の維持管理、環境美化に努め、不具合等の対応も迅速に行えるよう体制を整えていきたい。</p> <p>末永く市民に愛着を持たれ年代を問わず利用される施設となるよう、努めていきたい。</p> |
|--------|--|

【所管：社会教育課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

| 点検項目 | 図書館管理運営費 |
|---------|---|
| 元年度達成目標 | <p>燕市立図書館、吉田図書館、分水図書館の3図書館の管理運営を一括して指定管理者に委託し、民間事業者等のノウハウを最大限に生かした高い専門性と豊富な経験を持つ職員によるきめ細かなサービスの提供により、利用者の利便性の向上や利用の促進を図る。また「第2次子ども読書活動推進計画」を策定するとともに、施設の老朽化が進んでいる箇所について必要な修繕等を行い、利用者に安全・安心な施設環境を提供する。</p> |
| 目標の達成状況 | <p>【図書館の利用状況】</p> <p>(1)入館者数 目標：236,000人 / R1：241,628人（達成率102.4%）</p> <p>(2)貸出利用者数 目標：76,700人 / R1：69,650人（達成率90.8%）</p> <p>(3)貸出冊数 目標：306,800冊 / R1：290,907冊（達成率94.8%）</p> <p>入館者数は目標値を上回り過去最高となったが、入館者に対する貸出利用者の割合が平成30年度32.4%に対し令和元年度28.8%と減少し、貸出利用者数、貸出冊数とも目標を下回った。</p> <p>【施設修繕】</p> <p>利用者への安全等を考慮し、休館日や蔵書点検による特別整理期間を利用し実施した。</p> |
| 取組の概要 | <p>【図書館管理運営】</p> <p>平成25年度から指定管理者に移行。指定管理者の努力により開館時間を延長するとともに利用しやすい書架の配置や資料の充実に努めている。また、各年齢層に合わせたおはなし会やイベント、体験事業などを定期的実施するとともに、児童・生徒に対し図書館を使った調べものや研究のサポートを行うなど、学校との連携事業も積極的に実施した。</p> <p><開催事業></p> <p>読み聞かせ事業・体験事業・リサイクル事業・読書普及事業 ボランティア育成活用事業・学校との連携事業</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>計 42 事業 420 回 参加人数 10,569 人</p> <p>【施設修繕】 燕図書館：①受水槽の更新、②非常放送設備の更新、③アプローチ タイルの修繕、④駐輪場陥没箇所の修繕 吉田図書館：①学習室・閲覧室のテーブル修繕</p> |
| 自己評価 | <p>【図書館管理運営】 図書の貸出業務の他に、積極的に自主事業の計画・実施を行った ことから参加人数は増加傾向となり、利用者のライフステージに合 ったサービス向上を図ることが出来た。今後も引き続き、丁寧なカ ウンター業務や充実した自主事業の実施、来館者に本を借りてもら えるような工夫、わかりやすい書架の配置などにより読書に関心を 持っていただけるよう事業の実施が必要である。</p> <p>【施設修繕】 受水槽の更新工事については、駐車場の一部制限や解体音が発生 するなど利用者への影響に対し、周知の徹底や休館期間内での集中 的な工事の実施、学習室を別に中央公民館に設けるなどの工夫を行 い、苦情を受けることなく実施が出来た。</p> |
| 評価委員の評価 | <p>読み聞かせなど多くの自主事業を工夫し実施していることについ て評価する。今後さらに生活に密着した事業の実施に努めていただ くとともに、市民の憩いの場として、魅力ある図書を多く所蔵し、 行きやすい図書館となるよう良い運営に努めていただきたい。</p> |
| 今後の方向性 | <p>今後も多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応するため、 利用者ニーズの的確な把握に努める。また魅力ある資料の選書や自 主事業の充実、課題解決に向けてのレファレンス機能の充実を図る とともに、第 2 次子ども読書活動推進計画に基づき、子ども達が読 書の楽しみを知ることができるよう各関係機関との連携を深め、読 書環境づくりに取り組んでいく。</p> |

【所管：社会教育課】

【事業全般に関する評価と今後の方向性】

| | |
|---------|---|
| 評価委員の評価 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、今後はこれまでと同様の形で事業を実施することは難しいと思われる。各事業においてはウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据えた対応をお願いしたい。 |
| 今後の方向性 | 今後の各事業においては、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、事業の目的を達成できるよう適切な形で実施していきたい。 |

第2次燕市学校教育基本計画の評価 ～令和元年度の指標について～

目標1：「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます。

■目標の達成状況

○ 全国平均より高い
▼ 全国平均より低い

| 指標項目 | 出所 | 対象 | 基準値 | H30 | R1 | 全国平均 | 中間目標値 | 目標値 |
|---|---------------|-------|-------|---------|---------|-------|--------|--------|
| | | | H27 | | | | R1 | R4 |
| 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 80.4% | ○ 72.8% | ○ 80.2% | 68.0% | <83%> | <85%> |
| | | 中学3年生 | 33.7% | ▼ 41.1% | ▼ 44.9% | 50.6% | <35%> | <40%> |
| 「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 86.2% | ○ 87.9% | ▼ 80.1% | 83.8% | <90%> | <90%> |
| | | 中学3年生 | 71.5% | ○ 72.6% | ▼ 65.6% | 70.5% | <75%> | <80%> |
| 全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※R1より、国語、算数、数学の全4教科（H30までは全8教科） | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | (4教科) | (2教科) | 1教科 | | <2教科> | <2教科> |
| | | 中学3年生 | (2教科) | (3教科) | 0教科 | | <2教科> | <2教科> |
| 標準学力検査偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中学1年生の英語を除く全8教科 | 全国標準学力調査(NRT) | 中学1年生 | 2教科 | 2教科 | 2教科 | | <2教科> | <2教科> |
| | | 中学2年生 | 3教科 | 3教科 | 2教科 | | <3教科> | <3教科> |
| | | 中学3年生 | 1教科 | 3教科 | 1教科 | | <3教科> | <3教科> |
| 「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 97.7% | ○ 96.0% | ○ 96.8% | 95.3% | <100%> | <100%> |
| | | 中学3年生 | 93.0% | ○ 94.5% | ○ 95.3% | 93.1% | <100%> | <100%> |

■評価委員の評価

- ・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合が下がっているが、それほど低い数字だとは思えない。
- ・故郷の愛着というのは、子供たちが地域のことを知らないと増加しない。
- ・アンケートをできるだけ減らすために、全国学力学習状況調査を活用することとなったが、ふるさと燕の愛着を評価するためにこの項目でよいのかという点でずれているものがある。

■今後の方向性

- ・令和2年度の「全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数」は、全国標準学力調査(NRT)の結果で評価する。

目標2：「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います。

■目標の達成状況

○ 全国平均より高い
▼ 全国平均より低い

| 指標項目 | 出所 | 対象 | 基準値 | H30 | R1 | R1 全国平均 | 中間目標値 | 目標値 |
|---|-----------------|-------|---------------|---------|---------|------------|--------|--------|
| | | | H27 | | | | R1 | R4 |
| 「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合 | 研修講座アンケート | 教職員 | 72.3% ※H26 | 94.9% | 93.5% | | <75%> | <80%> |
| 「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 89.0% | — | ○ 86.2% | 85.8% | <90%> | <92%> |
| | | 中学3年生 | 84.4% | — | ○ 83.1% | 81.9% | <85%> | <87%> |
| 「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 75.4% | ○ 87.9% | ○ 86.2% | 81.2% | <78%> | <80%> |
| | | 中学3年生 | 70.0% | ○ 81.9% | ○ 76.6% | 74.1% | <73%> | <75%> |
| 「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合 | 全国学力・学習状況調査(学校) | 小学校 | 100.0% | ○ 100% | ○ 100% | 95.1% | <100%> | <100%> |
| | | 中学校 | 80.0% | ○ 100% | ○ 100% | 92.6% | <100%> | <100%> |

■評価委員の評価

- ・今年、全国学力・学習状況調査がないが、何で実施するのか。

■今後の方向性

- ・QUで似たような調査項目がないか調査をする。あれば、それで評価する。
- ・「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」については、学校に調査をする。

目標3：学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます。

■目標の達成状況

○ 全国平均より高い
▼ 全国平均より低い

| 指標項目 | 出所 | 対象 | 基準値 | H30 | R1 | R1 全国平均 | 中間目標値 | 目標値 |
|--|------------------|--------|--------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|----------|----------|
| | | | H27 | | | | R1 | R4 |
| 近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ①教育目標の共有 ②授業研究などの合同研修 ③教育課程に関する共通の取組 ※H29から3項目に変更 | 全国学力・学習状況調査(学校) | 小学校 | 66.7% | ① - ○②80.0% ▼③60.0% | ① - ▼②64.3% ○③92.9% | ① - ②70.6% ③65.0% | <80%> | <80%> |
| | | 中学校 | 60.0% | ① - ○②86.6% ○③100% | ① - ○②80.0% ▼③60.0% | ① - ②76.2% ③68.0% | <80%> | <80%> |
| 学校支援ボランティア活動支援のべ回数 | 地域に根ざす学校応援団事業報告書 | ボランティア | 4,237回 | 3,868回 | 4,492回 | | <4,300回> | <4,400回> |

■評価委員の評価

- ・今年、全国学力・学習状況調査がないが、何で実施するのか。

■今後の方向性

- ・近隣の小中学校との連携については、聞き取り調査をする。

目標4：安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります。

■目標の達成状況

○ 全国平均より高い
▼ 全国平均より低い

| 指標項目 | 出所 | 対象 | 基準値 | H30 | R1 | R1 全国平均 | 中間目標値 | 目標値 |
|---|-------------|-------|-------|---------|---------|------------|--------|--------|
| | | | H27 | | | | R1 | R4 |
| 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 94.5% | — | ○ 96.5% | 95.2% | <96%> | <98%> |
| | | 中学3年生 | 95.3% | — | ▼ 93.4% | 93.9% | <96%> | <98%> |
| 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 95.5% | — | ○ 91.4% | 87.9% | <96%> | <98%> |
| | | 中学3年生 | 94.8% | — | ○ 88.1% | 85.9% | <96%> | <98%> |
| 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 96.8% | ○ 98.2% | ○ 98.7% | 97.1% | <100%> | <100%> |
| | | 中学3年生 | 95.6% | ○ 96.5% | ○ 96.5% | 95.1% | <100%> | <100%> |
| 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 | 全国学力・学習状況調査 | 小学6年生 | 95.7% | ○ 97.0% | ○ 96.1% | 95.2% | <96%> | <98%> |
| | | 中学3年生 | 94.0% | ○ 98.5% | ○ 97.4% | 94.3% | <96%> | <98%> |

■評価委員の評価

- ・今年度は、全国学力・学習状況調査がないが、何で実施するのか。

■今後の方向性

- ・QUで似たような調査があるかどうか確認をする。

IV 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【平成31年4月24日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報告：報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議案：議案第13号 学校薬剤師の委嘱について

議案第14号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第15号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

議案第16号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第17号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第18号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第19号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第20号 燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について

議案第21号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第22号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会設置要綱の制定について

議案第23号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員の委嘱について

その他：(1) 「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の選任について

(2) 「燕市姉妹都市子ども交流事業 選考委員」の選任について

(3) その他

●5月定例教育委員会【令和元年5月28日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報告：報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

議案：議案第24号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の任命について

議案第25号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第26号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

●6月定例教育委員会【令和元年6月26日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報告：報告第6号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 新規共催・後援申請について

議案：議案第27号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について
議案第28号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：(1) 令和元年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 平成30年度燕市一般会計補正予算（第13号）の概要について
- 2) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第2号）の概要について
- 3) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第3号）の概要について
- 4) 一般質問の概要

●7月定例教育委員会【令和元年7月30日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第7号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第5号 新規共催・後援申請について

議案：議案第29号 燕市指定文化財「国上寺本堂 附境内地」の現状変更について
議案第30号 令和2年度小学校教科用図書・中学校教科用図書の採択について

その他：(1) 燕市環境審議会への委員の推薦について

●8月定例教育委員会【令和元年8月22日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第8号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第6号 新規共催・後援申請について

●9月定例教育委員会【令和元年9月30日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第7号 新規共催・後援申請について

議案：議案第31号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第32号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

議案第33号 燕市保育の必要性の認定に関する規則の一部改正について

議案第34号 燕市一時保育事業実施要綱の一部改正について

議案第35号 燕市立保育園等における副食費の徴収に関する規則の制定について

その他：(1) 令和元年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 燕市立幼稚園条例及び燕市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事

業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- 2) 燕市社会教育施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 3) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第5号）の概要について
- 4) 一般質問の概要

(2) 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

●10月定例教育委員会【令和元年10月29日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告

報 告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第8号 新規共催・後援申請について

●11月定例教育委員会【令和元年11月20日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告

報 告：報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第9号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第36号 燕市勤労青少年ホーム条例施行規則の一部改正について

●12月定例教育委員会【令和元年12月25日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第10号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第37号 燕市社会教育施設使用料の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について（取り下げ）

議案第38号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第39号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

議案第40号 燕市保育園の保育料の減免に関する要綱の制定について

議案第41号 燕市立認定こども園の保育料の減免に関する要綱の制定について

議案第42号 燕市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について

その他：(1) 令和元年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第6号）の概要について
- 2) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第7号）の概要について
- 3) 一般質問の概要

●1月定例教育委員会【令和2年1月28日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議案：議案第 1 号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

その他：(1) 令和元年度燕市幼稚園・こども園修了式・閉園式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者について
(2) 子育て支援課における相談窓口新設に伴う組織改正について

●2月定例教育委員会【令和2年2月19日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告

報告：報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 2 号 新規共催・後援申請について

議案：議案第 2 号 燕市社会教育施設使用料の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について

その他：(1) 令和2年度当初予算のポイントについて

●3月臨時教育委員会【令和2年3月3日（火）】

議案：議案第 3 号 燕市立小・中学校管理職の人事異動について

●3月定例教育委員会【令和2年3月27日（金）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 3 号 新規共催・後援申請について

議案：議案第 4 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 5 号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

議案第 6 号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第 7 号 燕市教育委員会臨時職員に関する規則及び燕市教育委員会一般職非常勤職員に関する規則を廃止する規則の制定について
議案第 8 号 燕市嘱託指導主事の勤務条件に関する要綱等を廃止する訓令の制定について

議案第 9 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 10 号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について

議案第 11 号 燕市児童クラブ条例施行規則の一部改正について

議案第 12 号 燕市体育施設条例施行規則の一部改正について

議案第 13 号 燕市学校給食費取扱規程の一部改正について

- 議案第 14 号 燕市立小・中学校学校給食費の会計処理に関する規則の一部改正について
- 議案第 15 号 燕市子育てのための施設等利用給付事業に関する要綱の制定について
- 議案第 16 号 燕市育児家庭向けおむつ用ごみ袋支給要綱の制定について
- 議案第 17 号 燕市スポーツ推進委員の報酬に関する要綱の制定について
- 議案第 18 号 燕市教員研修視察派遣要綱の一部改正について
- 議案第 19 号 燕市立児童クラブ延長保育実施要綱の一部改正について
- 議案第 20 号 燕市特定保育事業実施要綱の廃止について
- 議案第 21 号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について
- 議案第 22 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
- 議案第 23 号 学校医の委嘱について
- 議案第 24 号 産業医の委嘱について
- 議案第 25 号 燕市保育士等人材バンク設置運営要綱の制定について
- 議案第 26 号 燕市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部改正について
- 議案第 27 号 燕市水道の塔の安全対策に関する技術委員会設置要綱の制定について

その他：(1) 燕市いじめ防止基本方針の改定について

(2) 令和2年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 燕市児童クラブ条例の一部改正について
- 2) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第10号）の概要について
- 3) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第11号）の概要について
- 4) 一般質問の概要

2 総合教育会議

●第1回総合教育会議【令和2年2月19日（水）】

議題：(1) 地域と学校との連携について

(2) 携帯情報端末を児童生徒が使用する場合の家庭や学校の役割について

3 教育委員の視察

| 開催日 | 視察先 | 視察内容 |
|-------------------------------|---|-----------------------------|
| 令和元年 5月30日(木) ～5月31日(金) | 長野県立白馬高等学校 | ・地域との協働による高等学校教育改革推進事業等について |
| | 長野県茅野市こども館 | ・乳幼児から中高生までの居場所づくりについて |
| 6月11日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・吉田北保育園 ・ハッピー第四保育園 ・燕東小学校 ・燕中学校 | ・施設や授業の様子を視察 |
| 11月6日(水) | <ul style="list-style-type: none"> ・燕市B&G海洋センター ・島上小学校 ・分水統合保育園建設予定地 ・吉田中学校 | ・施設や授業の様子を視察 |

4 教育関係会議への出席

- ・全県教育長会議(4/15(月)新潟県自治会館)
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会(5/17(金)見附市)
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会(山梨大会)総会(5/31(金)山梨県北杜市)
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会(7/19(金)村上市)
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会(1/16(木)燕市)